

# 代表質問

令和4年12月2日、5会派が代表質問を行いました。質問の一部を抜粋してお知らせします。代表質問は4人以上の所属議員を有する会派が行うことができます。

## 自由民主党 静岡市議会議員団

### 人口活力の 向上に向けた取組

Q 令和2年の国勢調査で、本市の人口は70万人を下回る結果となった。4次総では、交流人口や関係人口にも着目し、人口70万人の維持にかわる目標として、人口活力の向上を掲げているが、人口減少社会の中で、人口活力を高めることは容易なことではなく、目標を達成できるか否かが、本市の発展を左右する極めて重要なことであると考え。目標を達成するため、4次総ではどのような施策に取り組むのか。



繁田 和三 議員

A 4次総では、定住人口の減少を抑える取組に加え、交流人口の拡大と関係人口の創出を一体的に推し進め、人口活力の向上を図り、経済の活性化や地域課題の解決などにつなげる。交流人口では、アートとスポーツを活かしたまちづくりなどを、関係人口では、テレワークの推進、首都圏での本市のファンづくりやシティプロモーションなどを、実施計画に位置付ける。

## 創生静岡

### 4次総における 子育て支援策

Q 会派の5年度政策提言書では、三本柱の一つに人への投資を掲げ、子ども子育て新制度の拡充を最重要施策と位置付けた。4次総において、子どもの育ちと長寿を支えるまちの推進を第一に据えて強調したことは、人口減少対策の一步と評価する。一方、8月のパブコメでは子育て政策への期待が大きく、先進市の取組と比べ、本市の遅れを指摘する声もあった。4次総における子ども・子育て支援の政策について、どのように



白鳥 実 議員

進めていくのか。  
A 子ども・教育分野では、①自らの力で豊かな未来を切り拓くことができる子ども・若者の育成、②誰一人取り残されず成長できるような支援、③子どもを産み育てやすいまちづくりの推進、④信頼される保育・教育環境づくりの推進の4つの政策に取り組む。さらに、先進市の事例を参考に、安心して子供を産み育てられる環境づくりを総合的に充実させる施策を検討する。

## 志政会

### 4次総と駿河湾スマート オーシャン構想

Q 3次総では海洋文化のまちづくりを進めてきたが、4次総は、清水港に集積する地域資源を活かし、海洋産業や海洋研究が発展するとともに国内外の人が交流し賑わう国際拠点港湾の清水港を中心とした海洋文化都市を目指すと言われて。特別委員会において、駿河湾スマートオーシャン構想の講演を聞き、夢のあるオンラインワンの構想であり、4次総に沿ったものである



宮城島 史人 議員

と確信したが、この構想についてどう考えるか。  
A 本市が取り組む海洋文化の拠点づくりと同じ方向性であり、構想の更なる具体化の動きに応じて、4次総の取組と連携を図るとともに、海洋文化の拠点づくりを海洋・地球環境というグローバルな課題解決にも貢献させるなど、世界に清水港の存在感を示す一つのきっかけとして、大いに活用していく。

## 公明党静岡市議会

### 老朽化が進む 市営住宅の建替え

Q 4次総期間中に築60年、70年を迎える市営住宅等の施設が複数ある。長寿命化にも限界があり、建替えには時間とコストを要するため、計画的なアセットマネジメントの取組が必要と考える。公共建築物の耐震対策の現状によると、葵区中心市街地に昭和20年代建築の市営住宅が存在し、老朽化が進行している。これら市営住宅の建替えをどのように進めていくのか。



井上 智仁 議員

A 老朽化が進む市営住宅は、葵区中心市街地にあり、優先的に建替えを進める必要がある。建替えに伴い、入居者の一時的移転が必要となることから、解体を進めている堤町団地内に市営住宅を新設し、入居者の一時移転を進め、老朽化が進む市営住宅の建替え等を順次進める。

## 日本共産党 静岡市議会議員団

### 専門家の意見を取り入れた 浸水対策

Q 台風15号により巴川流域では浸水被害が発生し、清水地域の主要河川全てで大変な状況に陥った。国土交通省によると、令和3年までの30年間で一時間雨量が80ミリを超える短時間強雨の発生回数が1.7倍に増加していることから、今回のような被害を二度と起こさないよう、一日も早い対応を求め。今後、浸水対策を検討する上で、専門家の意見を取り入れて対策を



内田 隆典 議員

講じていく必要があるが、どう考えるか。  
A 巴川流域の河川や下水道施設の整備を進めてきたが、対策が完了した地区でも浸水被害が発生した。このため、新たな対策や地区の追加などを見直す必要がある。見直しを進める上では、今回の豪雨等を踏まえて整備水準や効果的な対策等について、専門家の意見聞きながら検討していく。

### 語句説明

#### 駿河湾スマートオーシャン構想

駿河湾に、国際的な海洋研究・教育文化拠点を核に、研究リゾート機能も有する「国際海洋連携中枢都市圏」を形成することを目指す構想。

静岡県選出の国会議員による「駿河湾スマートオーシャン議員連盟」が提唱している。



ホームページで配信映像をご覧いただけます。